

留学生新聞

第6号 2005年10月14日発行

〒512-8512 四日市市萱生町1200 留学生支援センター

四日市大学留学生会 Tel. 0593-65-6793(代)

Mail:g4203015@edu.yokkaichi-u.ac.jp

みなさん、お久しぶりです！留学生新聞をお届けします。日本の蒸し暑かった夏も終わり、い

よいよ2005年後期の授業が始まりました。爽やかな秋風に乗せて、『留学生新聞』第6号をお届け

致します。大学生活は軌道に乗っていますか？EXPO(愛知万博)は如何でしたか？季節は秋一

「収穫の秋」であると同時に「灯火親しむ秋」でもあります。アルバイトは大変でしょうが、健康

に注意しながら、本(書物)をたくさん読んで、しっかり勉強して下さい。楽しく留学生活を送り

ましょうね！本紙に掲載する多くのニュースが、留学生活を送るあなたのお役に立つように願って

います。私は、今回初めての本紙の編集を担当しますが、まだよく分からないことが多いので、ぜ

ひみなさんから応援やご指導を頂きたいと思います。どうぞ宜しくお願い！【編集部・馬暁セイ】



第2回四日市大学留学生弁論大会



9月27日、さわやかな秋の季節に第二回四日市大学留学生弁論大会が開催された。多数の参加を得て午後2時30分から311教室で開かれた。宗村南男学長が「頑張ってください」と挨拶。113年生の十一人の弁士が一人十分ずつ熱弁をふるった。留学生支援センター長西牧教授は「弁論大会を通して、留学生達の留学生活と考えがよく理解できた」と講評。最優秀賞には、崔虎(総2)「私の日本留学生活を振り返って」、優秀賞には馬暁セイ(MD2)「私の国と日本・日本留学で考えたこと」、第3位にはソン・エン(現ビ1)「落ち込んでばかりいるのはもうやめにします」、がそれぞれ選ばれ、

永戸副学長から賞品と賞状が授与された。その他の出場者は次の通り(登壇順)。全賞に記念品が贈呈された。◆ゾブド・ソドゲル(済2)、ジヨウ・シヨウ(環3)、ウ・フセン(総2)、坂倉恒平(済4)、オウ・テツ(管2)、セキ・ダイコウ(管2)、棟田充(環4)、トウ・ケン(管3)。今回、二名の日本人学生も参加して、自分の主張を述べたことで、留学生にとっても良い影響を与えた。

留生成績優秀者(平成16年度後期)奨学生決定

さくねんどこうき しむりゅうがくせいせいせきゆうしゅうしゅ たい しょうがくきん きゅうふ
 昨年度後期の私費留生成績優秀者5人に対して奨学金が給付さ
 れた。これは各学科から1名、一時金=3万を支給する制度で、対象は、
 せんがつき たんいじょう しゅとく せいせき ゆうしゅうしゃ いいん
 「前学期に14単位以上を取得した成績優秀者」から留学生支援委員
 会の承認を経て選出される。今回の授与者は次の5人。◆李松林(済4)、
 おうよう まんえ りょう けんぽ ま ぎょう てきえつ
 歐陽漫江(営2)、梁剣波(環2)、馬暁セイ(MD2)、擢悦(総3)。
 ◆...2回連続受給となった擢悦さんは「自分が認められたという思いが、
 私には、とても重要です。これからも一層勉学に励みたいです」と、

よろこ ほうふ かな
 喜びと抱負を語っていた。
 【参考】◎...なお、現行の留学生奨学金の交付団体は次の通り
 (照会先:留学生支援センター)。
 みえけんこくさいこうりゅうざいだん しひ きゅうふきん しえんきこう
 三重県国際交流財団(私費外国人留学生給付金)、日本学生支援機構
 がくしゅうしょうれいひ もんかしょう こくひ
 (学習奨励費)、文科省(国費外国人留学生・日本政府奨学金)、四日市
 北ロータリー(四日市大特別奨学金)、四日市大(成績優秀者/貢献顕著)。



大学で知識を身に付け
 と同時に楽しい留学
 生活を送りましょう!

与

楽しい留学生活
 愛知万博



ニュース

◆人民元切り上げ 留学生・ 在日中国人への影響は？

中国の中央銀行に相当する中国人民銀行

が21日、人民元の為替レートを2%幅

切り上げた。中国通貨の人民元は従来、

上下0.3%という狭い変動幅の中で事実

上米ドルに固定されており、今後もこの変動幅

には変更はないが、今回その基準値が1米ドル

=8・28元から8・11元に切り上げられた。ま

た今後は米ドルのみならず日本円やユーロも含

めた複数通貨の動きをレート決定の参考にする、

いわゆる通貨バスケット制度が導入される見通

◆中日友好は若者の使命

中国人学生で組織する国費留学生の団体などが10日、東京の中国大使館で会合を開

き、先に胡錦濤国家主席が「反ファシスト戦争勝利60周年記念大会」においておこな

ったスピーチ内容を学習した。出席者によると過去の戦争を総括する必要性とともに、中日

関係の重要性を訴える意見も少なくなく、東京大学のある留学生は「歴史問題を強調する

のは恨みや憎しみを引きずるためではなく、歴史を鑑に未来に向かうためだ。中日友好は

私たち若者に課せられた使命だ」と語ったという。

◆中米から留学生ら千人受け入れ

小泉純一郎首相は来日中の中米地域7ヶ国首脳と会談した中で、今後5年をめどに

同地域からの留学生受け入れを強化する考えを伝えた。研修生と併せ、約千名程度の受け

入れを想定しているという。同地域から日本への留学生は極端に少なく、南米を併せた中

南米エリアののべ数でも1015人(平成15年5月現在)にとどまっている。今回の首脳

会談は中米5ヶ国と日本の国交樹立70周年を記念して開催された。

しだ。人民元切り上げは留学生や在

日中国人の生活や日本留学にどのよ

うな影響を与えるのか？まずメリッ

トを享受すると考えられるのは親元

からの定期的な仕送りや送金に頼る

留学生で、人民元の外貨に対する

価値が高まるため、一般的には仕送

り元の親の負担が軽減される。これ

から留学を目指そうとする人も、人

民元建てで換算した留学費用が圧縮

されるため同様にプラス面が大き

い。一方ですでにまとまった外貨を

準備して来日した人やすでに両替済

みの米ドルや日本円を有する留学生



にとっては、今回の切り上げはマイナスとなる。日本で働

いて稼いだお金を本国に送金する外国人就労者や、蓄えた

預金を持ち帰ろうとする中国人などにとっても、人民元に

対する日本円や米ドルの価値が下がるため、元建ての送金・

持参額は少なくなる。

◆留学時の外貨両替制限緩和さる

中国国家外匯管理局によると、中国人が留学などで海

外に出国する際に両替可能な外貨の金額制限が今月初めか

ら緩和された。従来は半年以上海外に滞在する場合、一

度に持ち出せるのは5千ドルまでだったが、これが留学

者も含め8千ドルまでに緩和された。加えて従来両替時

には両替額の2倍の預貯金(保証金)が必要だったが、こ

の保証金も一律、両替額プラス2000元(2万6千円)に

引き下げられた。また換金手続きも簡素化され、パスポー

トと渡航先のビザを提示するだけで、人民元から外貨への

両替が可能になった。とはいえこれはあくまでも銀行に

おける公的な両替に限った話で、私費留学の場合は上記の

上限額全てを外貨に替えても、とうてい海外留学に耐え

うる金額とは言えないため、現実には依然として私的な

ルートによる両替や海外の親戚による支援で留学するケー

スが大半のようだ。

ニュース

◆日本留学試験で採点ミス発覚

(独)日本学生支援機構は今年6月におこなわれた日本留学試験の「日本語」科目に採点ミスがあったことを公表した。問題の箇所は「読解」問題の2つで、選択肢の修正が事前に正解表に反映されていなかったのが原因という。影響を受けるのは全受験者のほぼ4割に相当する2388人で、同機構では該当者の採点結果を修正する見通しだ。

◆超・飛び級!10歳の大学生が誕生

成績が傑出し1~2年早く大学に進学する「飛び級学生」が珍しくない中国だが、このほど僅か10歳で理工系大学に合格する超・飛び級学生が出現し、マスコミの話題をさらっている。この学生は遼寧省出身で、今年の大学入試で天津工程師範学院の数理情報科学部に合格した。9月に入学予定で当面は父親と一緒に寮生活を送るという。日本では文部科学省の規定などがあるためこれだけ大胆な飛び級はまず不可能だが、中学、高校と飛び級を連続すればこうしたケースもあり得る中国の教育制度は、ある意味実力主義と言えるのかも。

◆西鉄で外国人向け通訳サービス開始

福岡の大手私鉄、西日本鉄道(西鉄)は留学生を始めとした外国人向けサービスとして、中国語、英語など3カ国語によるテレホンセンターを設けた。すでに電話による問い合わせなどの受付を開始しており、同地を訪れる外国人観光客などからも重宝されそうだ。バスや電車を利用する外国人からの利用上の質問やルート照会などに年中無休で対応するという。福岡市は全国で最も早い時期から、博多駅など主要ターミナルの案内ボードに中国語・韓国語による表示を導入しており、市民や留学生の間でも利用頻度の高い西鉄においても通訳サービスが始まることで、さらに外国人にやさしいインフラ整備が進むことになる。

◆ニュージーランドへの留学生が激減

ニュージーランド統計局の発表によると、国の2004年度現在の留学生総数(速報値)は約4万2千人となり、前年度の同7万2千人から一気に3万人も激減した。また新華社の報道では同国への中国人学生も37%減少している模様だ。留学斡旋業者を巡る不祥事や語学学校の連鎖倒産などが直接影響を与えたものとみられる。人材不足の解消に留学生の活用を日中両国の代表的な経済団体である日本経団連と中国企業連合会は、先日東京都内でシンポジウムを開催し、中国現地に進出した日系企業の間で顕在化している人材不足の解消手段として、日本留

学経験をもつ中国人を積極的に登用していくことで一致した。中国企業連合会には元留学生が日本国内で経営する企業関係者や中国人の大学教授などが名を連ねており、日本企業の採用方針にも一定の影響力を有する。日本国内における留学生の就職者(「就労」資格取得者)は昨年度5264人と史上最高を更新したが、その一方で増え続ける国内の大学生との激しい競争にさらされる帰国就職者の就職状況は目下大変厳しいとされる。人手不足に悩む日系企業との橋渡しなど、今後の、両経済団体を通じた具体的な取り組みが期待される。

◆テロが留学審査に与える影響を否定 ～在上海英国総領事館

先月ロンドンで起こった同時爆発テロ事件に関連し、上海の英国総領事館関係者は「わが国の留学ビザ政策は変わらない。総領事館の(ビザ発給)業務も通常通りに行われており、(一部で言われているような)申請の厳格化や背景調査などはあり得ない」と語った。先に北京で行われた国際教育展では、子女の英国留学を敬遠する発言が両親など出席者から相次いでおり、9・11事件直後の米国のように申請が厳しくなるのではないかと憶測も広がっていた。



◆中国浙江省が帰国就職者

3千人受け入れ計画

中国の上海に隣接する浙江省は、今後5年間で3千名の海外留学帰国者を受け入れる計画を固めた。同省人事庁幹部がこのほど明らかにしたもので、特に同省内の留学人員創業園で新規創業する帰国者に対しては、税金の減免や起業資金融資、子女の戸籍・就学などの面で手厚い優遇策を施す。同省からは日本への留学生も少なくない。

◆ハリケーン被害地の留学生

無事脱出

大型のハリケーン「カトリーナ」による被害が甚大な米国南部のルイジアナ州ニューオーリンズには、当初約30名ほどの中国人留学生を取り残されていたが、すでに無事現地を脱出したことがわかった。内訳はルイジアナ州立大学の留学生26名、ニューオーリンズ大学の7名などで、すでにテキサス州ヒューストンなど近隣都市に避難した。ただ一部の在米華人の消息が今なお不明で、現地の総領事館では安否の確認を急いでいる。



◆私大の定員割れ さらに深刻に

大学「全入時代」の到来が来年に迫る中、定員割れしている私立大学の数が依然として全体の3割近くに高止まりしていることが、日本私立学校振興・共済事業団の調べで明らかになった。同調査によると今年春に学生を募集した私大542校のうち160校が定員割れしている。この数は史上最高で、全私大の入学者を募集定員で割って算出される定員充足率も109・9%となり、ここ10年間で急激に減少しているという。特に、すでに「全入」状態にある地方の大学は状況が深刻で、このまま定員割れと充足率低下が進めば、近い将来、深刻な経営危機に陥る可能性もささやかれている。

◆福岡事件の被告に死刑執行

2003年に福岡で起こった松本さん一家殺害事件で、逃亡先の中国で逮捕され死刑判決を受けていた元留学生の被告1人に対する刑が先月12日、すでに執行されていたことがわかった。沈陽の日本国総領事館にも事前の連絡などが一切なかったことから、関係者間では波紋が広がっている。一部には「事件が日中関係に与えた影響を考慮し、早く幕引きを図りたいと中国側の思惑があったのではないか(関係者)」との見方もある。同事件では同じく中国で起訴された1人の被告に無期懲役の判決が確定。日本で逮捕されたもう1人の容疑者はおお裁判が続いている。

◆上海で韓国人留学生

中国最大の経済都市である上海には世界各国から留学生が集まっているが、最近では韓国人留学生の増加ぶりが著しいという。全国の重点大学に指定されている上海屈指の名門校でも、全留学生の7割を韓国人が占める大学が出てきた。背景には中国経済の発展に伴って、韓国からも多くのビジネスマンが上海入りしその子女が現地の大学に入学するケースが増えていることや、文化的な親近感から中国語を学びたいという旧来の風潮が若者にも浸透し始めたことなどがあるものとみられる。韓国は日本と並び中国への留学生を最も多く輩出する国だが、韓国人の場合、1990年代までは天津や東北エリアなど地理的に近い中国北方エリアへの留学生が圧倒的に多かった。経済交流の緊密化とともに留学目的には「将来のビジネスに役立つ」といった理由が増え始め、留学先も経済先進地域へと移りつつあるようだ。

留学生就職情報

留学生向けに最新の就職情報をお送りします。いずれも現時点で2006年春卒業予定者が応募できる求人で、中には既卒者でも応募可能な企業もあります。文中の「留学生新聞」とは、メディアチャイナ発行「留学生新聞」のことです。本紙(四日市大学の留学生新聞)と同じ名称ですが、インターネットで配信されている別の情報メディアのことです。以下の記事は同メディアからの転載です)

新設の就職情報サイトからも情報収集が可能!人材サービスを手がける日経工業株式会社(日経グループ)が最近立ち上げた中国・台湾人向けの求人・求職サイト「中日求人求職.com」でも、最新の留学生向け就職情報が提供されている。興味のある方はまず下記にアクセス!

「中日求人求職.com」アクセス先 <http://cj-job.com>

DELL大連が留学生の追加募集を決定!

世界最大のPC企業である米国デル(DELL)が、2006年春に大学・大学院・専門学校などを卒業予定の学生を対象に、大連にあるサービスセンターの現地社員を追加募集する。外国人留学生(国籍不問)や在日外国人(既卒者)を始めとして、中国で働くことを希望する日本人学生も応募が可能だ。夏以降も応募者多数につき、6月に続く「採用説明選考会」の追加開催が決まった。

◆職種:

営業、テクニカルサポート(技術サポート)、カスタマーケア(顧客サービス)、ビジネス

◆採用人数:

各職種とも相当数

◆応募資格:

来年4月から大連に赴任でき日本語が堪能な者であれば、誰でも応募可能。既卒者や転職希望者、日本人でも応募できる。

◆「採用説明選考会」概要

首都圏(川崎本社)・大阪・福岡の3会場^{じっし}で実施

首都圏=11月13日(日)・17日(木) 会場=デル日本法人本社(川崎)

福岡=11月23日(水/祝) 会場=アクロス福岡 大会議室

大阪=11月26日(土) 会場=トーコーシティホテル梅田

(注意)いずれの会場も10時、14時の2回実施しますが、10時の回は留学生・在日外国人のみ受付します。14時の回は留学生・在日外国人・日本人のいずれも参加可能です。日本人の方は必ず14時の会に参加登録してください。

◆応募方法:

説明選考会に参加するためには事前に参加登録が必要。希望者は下記の必要項目をe-mailまたはFAXで留学生新聞まで送信のこと。追って当日の案内を本人宛にメール送信。

(会社ホームページ <http://www.dell.com/dalian>)

■参加登録に必要な項目:

希望参加会場(首都圏、福岡、大阪)、希望参加日時、希望参加時間、氏名(漢字及び英語)、性別、生年月日、在籍学校及び学部・研究科名、会社名(職歴のある方)、日本の住所、電話番号・携帯番号、eメールアドレス、卒業年(2006年卒業予定、或いは〇〇年既卒)

◇登録先:e-mail:saiyou2006@dream.com

FAX =03-5458-4175(留学生新聞)





メディアチャイナ株式会社(留学生新聞)の採用情報

弊社「留学生新聞」を発行するメディア株式会社では、業務拡大に伴い営業スタッフを募集している。応募要件は下記の通り。

- ◆募集職種 ; 媒体広告の企画・営業を中心としたメディア業務
- ◆応募条件 ; 日本語・中国語ともに堪能で一定の文章力を有する者。営業経験者歓迎。

既卒者・新卒者とも応募可。

- ◆勤務地 ; 東京 / 渋谷
- ◆応募方法 e-mail または FAX にて履歴書送信のこと

e-mail:fu.mediachina@dream.com FAX:03-5458-4175

江蘇省常州市が東京で人材説明会を開催

中国の最高学位である「院士」の多くを始めとして、古くは科挙試験の合格者も数多く輩出した江蘇省常州市が、日本で中国人留学生を対象とした人材募集説明会を開催する。先日実施された同省蘇州市の人材募集説明会でも多くの留学生が就職先の確定にこぎつけており、今回も現地政府・企業関係者との懇談などが予定されている。帰国就職を考えている留学生には絶好のチャンスだ。参加要件は特になし。

※「常州市留学・専門人材 募集説明会」概要

◆開催日時 :

2005年10月10日(月曜日、祭日)PM15:00から受付しました。

◆内容 :

「常州市留学・専門人材 募集説明会」「懇親パーティー」

◆場所 :

アルカディア市ヶ谷 私学会館 5F 大雪の間・穂高の間

◆住所 :

東京都千代田区九段北 4-2-25 (TEL:03-3261-9921)

◆交通 :

地下鉄有楽町線、南北線市ヶ谷駅 A1-1 出口、地下鉄新宿線市ヶ谷駅 A1-1 A4 出口、JR 中央(総武)線市ヶ谷駅の各出口から徒歩約 2 分

◆参加費用 :

無料

◆参加申し込み方法 :

氏名、性別、年齢、最終学歴、学校、専門分野、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を日中交流促進会事務局の林先生まで送って下さい。(個人情報の秘密は厳守いたします)。

申し込み先 E-mail:linxin@nifty.com FAX:047-426-4188

NPO 法人 日中交流促進会事務局「常州市留学・専門人材募集説明会」事務局

(注意)申し込み順に登録アドレス宛に受付番号を返信いたします。会議当日はこの受付番号を持って、受付にて懇親パーティー券をお受け取り下さい(会場の座席数には限りがあるため、先着 200 名までで締切となります。お申し込みはお早めに)。

連日強い日差しを浴びせていた天気は何だか崩れてしまい、今にも雨が降り出しそうだった。待ちわびていた京都の旅行。雨が降らぬことを祈り出発した。しかし、駅に着くや否や、バケツをひっくり返したような大雨が降り出した。危うく、びしょ濡れになってしまふところだったが、濡れずに済みラッキーな一日から始まった。

電車の中では、周りの素晴らしい自然の美しさにうっとりしてしまい、つい時が立つのも忘れていた。京都に到着したのが分かったと、私の興奮状態は絶好調に達し、思わず歓喜の声を上げてしまった。京都駅で何よりも驚いたのは、単なる駅として使われているだけではなく、飲食店やホテルなどを集結させた総合ビルとして役割を果たしていることだった。屋上からは、京都の街並みを一望することができ、美しい夜景が楽しめる絶好の場所ではないだろうか。駅は訪れる観光客の多さを十分感じ取ることが出来た。日本の古都—京都というイメージが強かったが、現代都市の風景を見て、驚かすにはいられなかった。初めて訪れる人は、どこが古都なの？と誰もがそう思ったろう。

早速、清水の舞台から飛び降りるつもりで、清水寺に足を運んだ。向かうバスからの風景は先ほど光景が同じ都市だとは思わせないほど、古都らしい街並みの雰囲気がつぶりと伝わってきた。日本の他の大都市ではなかなか見られない中国式の街並みで、中国の古都である西安や北京を思い浮かべた。清水寺に到着し、坂道を登り始めると、両側に老舗やお土産店がずらりと並んでおり、時代劇で見た下町の光景が現実のものとして目の前に現れた。雨にもかかわらず、清水寺に向かう大勢の観光客から人気ぶりが分かった。しばらくすると、突然色鮮やかな赤い建物「赤門」とも呼ばれる「仁王門」が現れた。中には、大きな鐘が吊られていて、奥には「随求堂」「三重塔」「経堂」が立っていて、これらすべてが赤色で、その勇姿を一層際立たせていた。更に奥に進むと大きくて広々とした木造建築物「本堂」が現れ、これが、有名な清水の舞台だった。今、自分がその清水の舞台に立っているという現実に興奮を抑えることができなかった。ここからも、京都市を一望することができ、京都駅からの風景とは一味違うイメージを受けた。現代都市の風景と対照的な古いお寺の風景とが絶妙な調和をとっていた。いつもなら降り続く小ぬか雨がうつつとつづく感じるが、静かで敵かなお寺の雰囲気には、うつつの天候だと思つた。国は違つても、仏教文化に対する両国民の熱意は全く

京都の旅

総合政策学部 総合政策学科 2年

さいこ
崔虎

変わらないことが印象的だった。違う点として、日本はお寺の中に神社があるということである。ここに中国と日本の文化の違いが見られた。

二日目、朝から晴れ、気持ちもすっきりしていた。スケジュールは、銀閣寺、平安神宮、金閣寺の建物だ。まず銀閣寺に向かった。中に足を踏み入れると、その素晴らしい景色に圧倒されてしまった。テラスでしか見たことのない伝統的で優雅、且つ静かな雰囲気漂う庭園が、目の前に現れた。日本人の自然に対する愛や自然を生かそうとする、その素晴らしさと知恵が、この一箇所ですべて感じ取ることができた。銀閣寺には言葉に尽くせぬ余韻を残したまま、次の予定の平安神宮に向かった。日本で有名な神社のうちの一つだけあって、緑の瓦で葺いた赤くて大きい建物は太陽の光を受け、その雄大さが一層際立っていた。平安神宮ならではの独特な印象を受けた。あまりの素晴らしさに圧倒され、永遠の記念に残そうと写真を何枚も撮っていた。

二日目最後の予定である金閣寺に向かった。金閣寺までは平安神宮から30分以上もかかり、京都市の大きさが十分に分かった。中に入つて間もなく目の前の光景に思わず驚嘆した。金色の光が、池の中に映し出された金閣寺がさんと輝いていた。周りの景色も銀閣寺の庭園に勝るとも劣らないものだった。「白間は一見にしかず」という言葉通り、金閣寺、銀閣寺は私の想像を遥かに越える素晴らしさと美しさを見せつけていた。世界で唯一かもしれない純金張りのお寺を見ることができて、良い思いが出来、自慢できると思つた。

二日目の旅は日本の文化や日本人の自然に対する価値観、自然を生かす知恵、日本人ならではの神社に対する思いなどを実感する一日だった。

三日目にも日本の美しい山水が楽しめる嵐山をはじめ、大本山天龍寺や映画村などを見物しながら、京都の旅を締めくくることにした。

短い三日間の旅だったが、得たものはこれまでの三年半の留学生活よりも大きかった。友達と一緒に旅をすることも心強く、「旅は道連れ、世は情け」という言葉の意味もよく分かったような気がする。留学生活は勉強だけでなく、日本各地を自分の足で歩き、自分の目で確かめながら、実体験をすることも大事だ、ということがよく分かった。忙しい留学生活から離れ、なかなか無いこのチャンスを利用することが出来、四日市大学に来て本当に良かったと思う。この活動がきっかけとなり、留学生達が日本をもっと知り、日本文化に触れ、留学生活のいい思いになればと思つた。